

【論考】

見たがる/見せたがる心理 ～筆箱コミュニケーションの世界～

奈良女子大学 文学部

三枝紗彩

<目次>

1. はじめに
2. 筆箱をめぐる心理の諸相:教室でのやりとりについてのアンケート調査より
3. 筆箱コミュニケーションの世界:アンケート結果と SNS 投稿の考察
4. おわりに

1. はじめに

みなさんは学生時代、友人から「筆箱見せて」と言われたことはないだろうか？ また、反対に、友人の筆箱の中身を見たいと思ったことはないだろうか？ 文房具、特に筆箱というものは、学生たちにとって文字を書く道具である以上の役割を持っているように見える。そこで本稿では、人の筆箱を見たくなる、また自分の筆箱を人に見せたくなる心理に着目し、主にアンケート調査を用いてその理由を考察する。

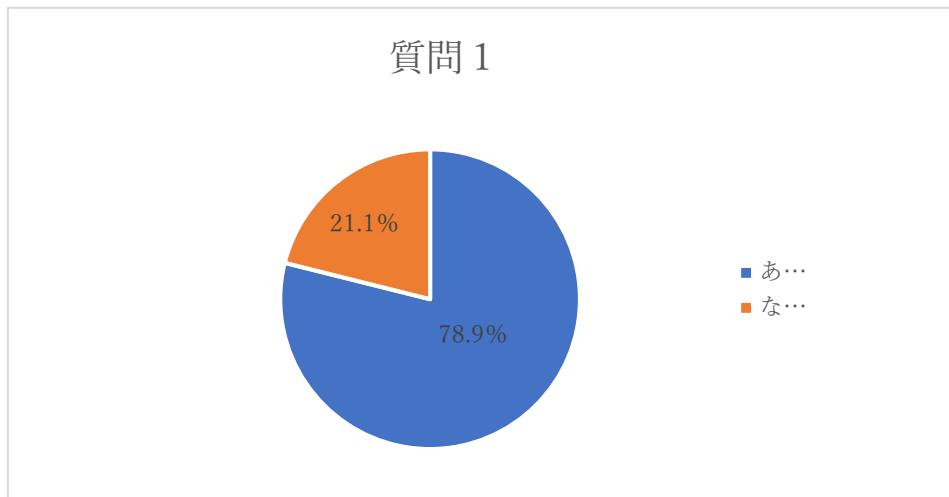
2. 筆箱をめぐる心理の諸相：教室でのやりとりについてのアンケート調査より

奈良女子大学の文具ゼミを履修している女子大生を対象にアンケート調査を行ったところ、19件の回答を得た。まずはそのアンケート調査の結果を見ていこう。質問はほとんどが選択式であり、その他の場合は記述で詳細を書いてもらう形式をとった。質問は全7問である。

なお、回想を回答してもらう形式になっているが、煩瑣をさけるため、どの段階（小、中、高、大）での出来事かの弁別はしない設問を用いた。そのため、子どもの発達段階による筆箱の意味や意義を分析するデータにはなっていないが、筆箱が学校や友人間で果たす役割を大きく把握する資料としては十分活用できるものと本稿では位置づけている。回収票数が少ないため、各設問への回答の比率は目安程度にしか用いられないが、さまざまな経験や声は貴重なデータといえる。

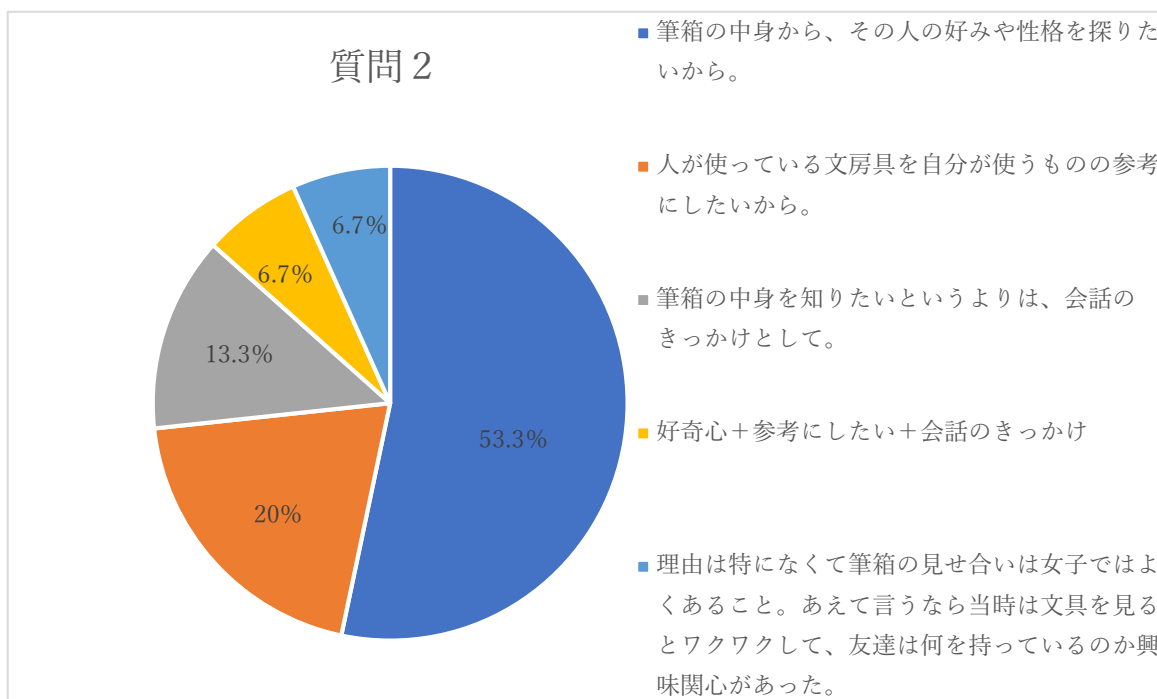
Q1：今までの学生生活（小、中、高、大）で、人に「筆箱を見せて」と言ったことがありますか？

回答 ・ある（78.9%） ・ない（21.1%）



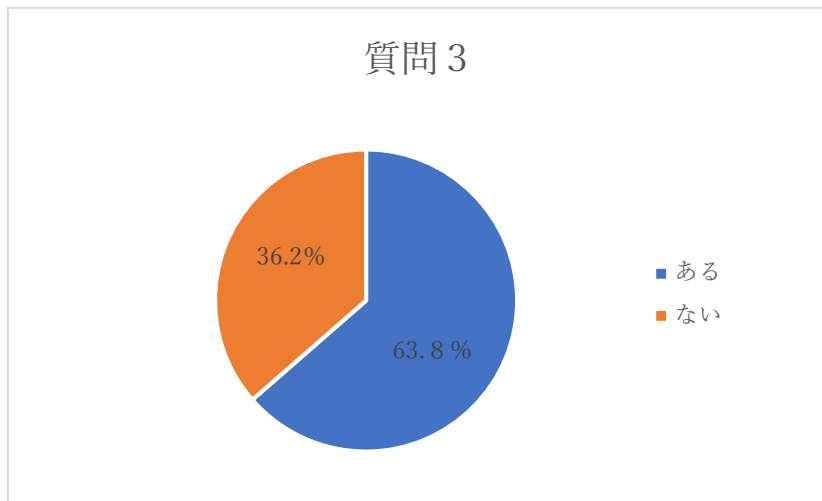
Q2：Q1で「ある」と答えた方に質問です。それはなぜですか？

回答 ・筆箱の中身から、その人の好みや性格を探りたいから。（53.3%）
 ・人が使っている文房具を自分が使うものの参考にしたいから。（20%）
 ・筆箱の中身を知りたいというよりは、会話のきっかけとして。（13.3%）
 （その他）・好奇心プラス参考にしたいプラス会話のきっかけ（6.7%）
 ・理由は特になくて筆箱の見せ合いは女子ではよくあること。
 あえて言うなら当時は文具を見るとワクワクして、友達は何を持っているのか興味関心があった（6.7%）



Q3：今までの学生生活（小、中、高、大）で自分の筆箱の中身を人に見せたい、紹介したいと思ったことはありますか？

回答 ・ある（70.6%） ・ない（29.4%）



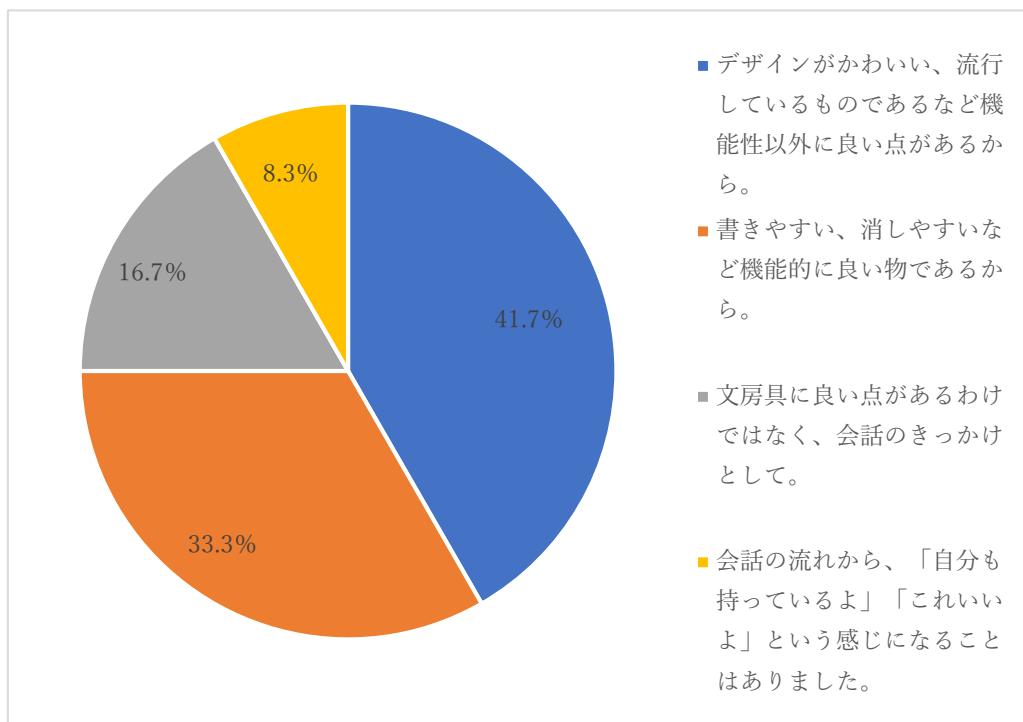
Q4：Q3で「ある」と答えた方に質問です。それはなぜですか？

回答 ・デザインがかわいい、流行しているものであるなど機能以外で良い点があるから。（41.7%）

・書きやすい、消しやすいなど機能的に良い物であるから。（33.3%）

・文房具に良い点があるわけではなく、会話のきっかけとして。（16.7%）

（その他）・会話の流れから、「自分も持っているよ」「これいいよ」という感じになることはあった（8.3%）



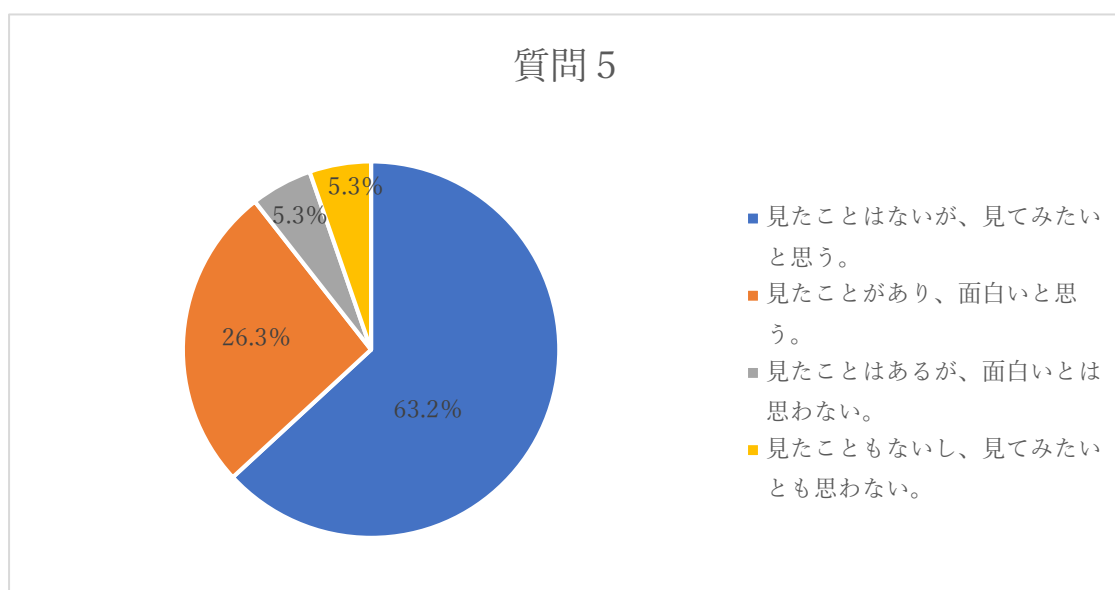
Q5：SNS上やYouTubeで見られる「#筆箱の中身」「#筆箱紹介」などの投稿、筆箱紹介の動画についてどう思いますか？SNSの投稿かYouTubeの動画のどちらか一方でも見たことがある方は「見たことがある」選択肢（①、②）の中から回答してください。

回答：見たことはないが、見てみたいと思う。（63.2%）

見たことがあり、面白いと思う（26.3%）

見たことはあるが、面白いとは思わない。（5.3%）

見たこともないし、見てみたいとも思わない。（5.3%）



Q6：Q5で「面白い、見てみたい」（①、③）と答えた方に質問です。それはなぜですか？

回答 ・人が使っている文房具を自分が使うものの参考にしたいから。（41.2%）

・筆箱の中身から、その人の好みや性格を探りたいから。（23.5%）

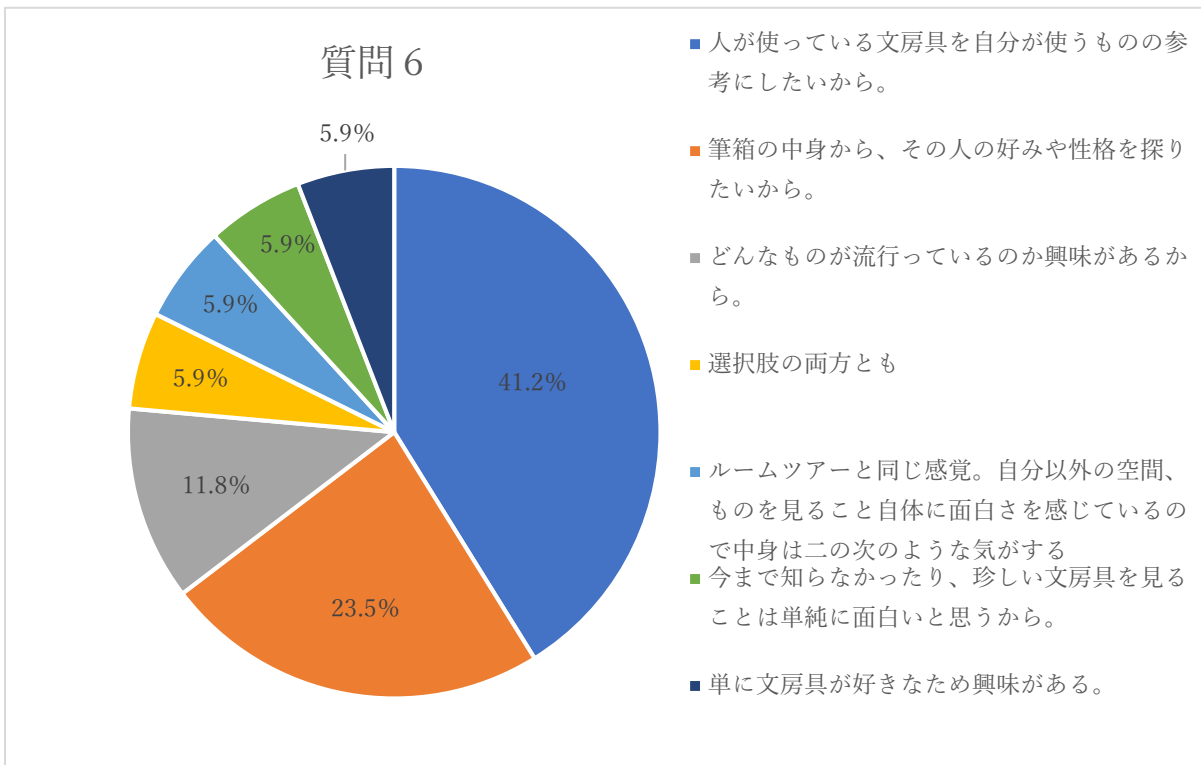
（その他） ・どんなものが流行っているのか興味があるから。（11.8%）

・選択肢の両方とも（5.9%）

・ルームツアーと同じ感覚。自分以外の空間、ものを見ること自体に面白さを感じているので中身は二の次のような気がする（5.9%）

・今まで知らなかったり、珍しい文房具を見ることは単純に面白いと思うから。（5.9%）

・単に文房具が好きのため興味がある。（5.9%）



Q7：人に筆箱を見せた、見せられた体験で印象的なものがあれば教えてください。（筆箱を見せ合ったことがきっかけで相手と仲が良くなった、などできるだけ詳しく書いてください。）

- 回答
- ・同じものがあつたときに親近感を覚えた。中身より、筆箱自体が同じシリーズだった経験の方が個人的には多かったが、
 - ・友達と筆箱の中身を見せ合つて、同じものや色違いのものを持っていると嬉しくなつた。
 - ・筆箱の中身からその人の好きなものがわかり、誕生日プレゼントに挙げる候補を考えるきっかけになつた。
 - ・私は筆箱に好きな漫画のキャラクターの文房具がいくつか入つているので、気づいた人には「好きなんだ！」と声をかけてもらえて、会話のきっかけになりました。
 - ・小学生時代、休み時間が始まると必ずと言っていいほど誰かから筆箱みーせーてー！と言われてたことが印象的。また中学生になると、缶タイプの筆箱が流行つたため文房具というよりはそこに貼つてあるプリクラを見せ合つて会話が弾んだ思い出がある。
 - ・転校先で筆箱を見せ合ったことをきっかけに友達づくりをした。
 - ・特に印象的な体験はありませんが、筆箱や文房具をきっかけに初対面の子と話題が広がつたり、友達同士では特に小学校では筆箱や文具の見せ合いが日常茶飯事

のことでした。

- ・仲良くなるきっかけというよりは、少し交流するようになった子と筆箱の中身を見せたり見せてもらったりしていたような気がする。会話のきっかけは「その〇〇(特定のアイテム)かわいいね!」のような感じで、わざわざ中を見せてもらうのは自分にはある程度話すようになってからじゃないとハードルが高く感じる。
- ・小学校高学年か中学生の頃、筆箱を見せ合った次の段階として、一つ文具を交換して授業を受けたり、ある時は筆箱を丸ごと交換して1日を過ごすこともあった。使いづらさよりも「非日常」や「新鮮味」を感じたのを覚えている。あまり代わり映えしない学校生活に刺激を求めていたのかなあとと思う。
- ・ノートをととてもきれいにしている友達の筆箱の中身を見せてもらって、文房具から真似していました。
- ・見せてもらった筆箱の中身がゴミなども一緒くたに入っていて汚かったので、指摘したら割と言いたいことが言い合えるような関係になって、今でも交流が続いています
- ・色々な筆箱を見て、自分の筆箱意外に汚いと気づいたことがあります。それから出来るだけ綺麗に大事に使うようになりました

3. 筆箱コミュニケーションの世界：アンケート結果と SNS 投稿の考察

以上、アンケート結果を紹介した。そこに見られたのは、筆箱を軸に活発にコミュニケーションしあう女子小・中学生・高校生の姿であった。そこでこれを"筆箱コミュニケーション"と名づけて、その内容や意味を分析していきたい。なお、最近では、インターネットや SNS 上にも筆箱に関する書き込みが少なくない。よって、適宜それらも参照しつつ、論を進めたい。

3.1 目的としての筆箱～とにかく見たい!～

アンケート結果から、筆箱を見ること自体が目的となっている例が見られた。その主な理由は「人が使っている文房具を自分が使うものの参考にしたい」というものだった。さらに、ア：筆箱に興味があるタイプとイ：筆箱の中身に興味があるタイプに分けて述べていきたい。

ア：筆箱に興味があるタイプ

今回のアンケートでは筆箱のみに興味を示していると判断できる回答は見られなかったが、ネット上では筆箱自体に興味を寄せられている例がいくつか見られた。Twitter の検索エンジンで「筆箱」と入力すると、検索候補に「筆箱 使いやすい」「筆箱 おすすめ」といった単語が出てくる。これらの単語で検索してみると、使いやすい筆箱やおすすめの筆箱を紹介する投稿や、使いやすい筆箱、おすすめの筆箱を教えてほしいという投稿

が多くあった。また、Instagramで「#筆箱紹介」で検索すると、トップの人気のある投稿では中身が見えるクリアタイプの筆箱の写真が多くみられた。アンケートの質問6で、ネット上の筆箱紹介に興味をわく理由として「どんなものが流行っているのか興味があるから」という回答がある程度見られたが、確かに、ネット上での筆箱紹介からは筆箱の流行が読み取れるということがわかった。

(写真：Instagramの#文具紹介のトップ画面)



(写真：Twitterの「筆箱」検索候補)

イ：筆箱の中身に興味があるタイプ

アンケート結果から筆箱の中身に興味があるとみられる体験談が多くあった。「友達と同じものや色違いを持っていると嬉しくなった」「ノートをきれいにとっている友達の筆箱の中身を見せてもらって、文房具から真似した」など、友達の文房具の中身を見ることに何らかの意味を見出していると言えるだろう。さらに、TwitterやInstagramの検索でも、「筆箱」と入力すると「筆箱 中身」「#筆箱の中身」といった検索候補が上位に出てくる。学生たちにとって筆箱を見る際には、筆箱だけでなく中身も重要な要素となっているようだ。

3.2 手段としての筆箱～きっかけづくり～

アンケートでは、筆箱を見ること自体が目的ではなく、筆箱を見ることによって友達との仲を深めたり、持ち主の性格、好みを探ったりしようとする、筆箱を見ることが一つの手段となっている例が見られた。ここではア：自分をアピールするタイプ、イ：相手のことを知りたいタイプ、ウ：その他 に分けて考察していく。

ア：自分をアピールするタイプ

アンケートの体験談の中に、「自分の好きなキャラクターの文房具を入れていたことで会話のきっかけになった」「筆箱に貼ってあったプリクラを見せ合って会話が弾んだ」など、筆箱やその中身に自分の好み、個性をアピールしているものがあった。学生は多くの場合、制服や校則などによって自分の個性をアピールする機会が制限されていると考えられる。その結果、学生たちが学校というコミュニティの中で自分をアピールする手段として筆箱が用いられているのではないだろうか。

イ：相手のことを知りたいタイプ

アンケートの回答に「筆箱の中身からその人の好きなものがわかり、誕生日プレゼントに挙げる候補を考えるきっかけになった」とあるように、筆箱の中身から相手の好み、性格を知ろうとする例も存在する。この点は質問2、6において「筆箱の中身から、その人の好みや性格を探りたいから」の回答が多くみられることから明らかである。上記（ア）のように、筆箱で自分をアピールする学生が多いことから、逆説的に筆箱を見ればその人のことがわかると言えるのである。

ウ：より複雑なコミュニケーションの光と影

上記のア、イのどちらの要素も含む回答として、「転校先で筆箱を見せ合ったことをきっかけに友達づくりをした」「筆箱や文房具をきっかけに初対面の子と話題が広がった」などが挙げられる。これらは筆箱を見せる人と見せられる人がそれぞれ存在するのではなく、互いに見せる/見せられるの関係にあることから、自分の筆箱で自己をアピールしながら、同時に相手の筆箱から相手のことを知ろうとするという状況が生まれていることがわかる。この方法はコミュニケーションの方法としては非常に効率的であるので、女子学生たちが自分の筆箱を見せるだけ、人の筆箱を見るだけではなく互いに見せ合っている場合が多いのも納得できる。

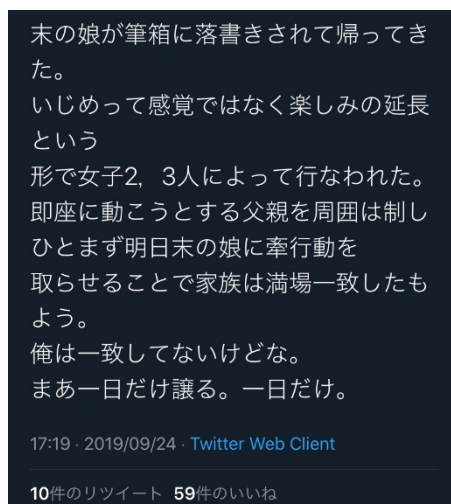
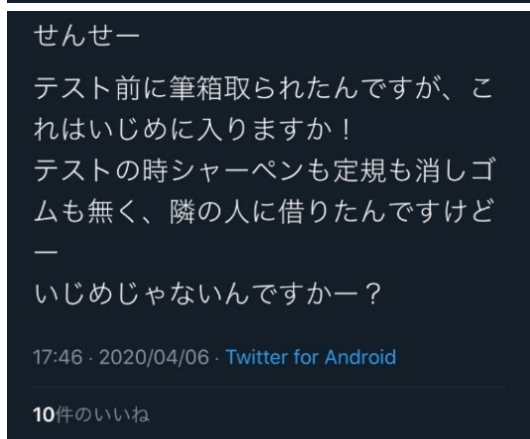
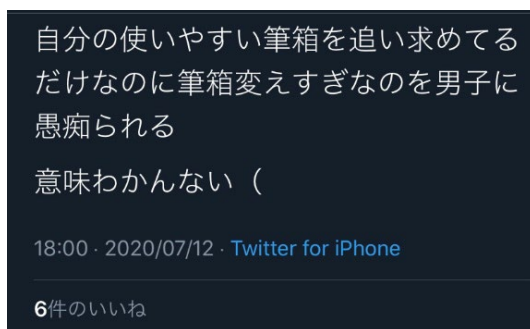
筆箱の見せ合いの発展した形として、「一つ文具を交換して授業を受けたり、筆箱を丸ごと交換して1日を過ごすこともあった」という回答があった。回答者も述べているが、文房具、筆箱を交換することで非日常や新鮮味を感じ、あまり代わり映えない学校生活に刺激を与えるために学生たちが生み出した工夫なのかもしれない。

また、「筆箱にゴミが入っていて汚いことを指摘したら言いたいことが言い合える仲に

なった」「人の筆箱を見て自分の筆箱が汚いことに気付いた」という回答から、文房具だけでなく、筆箱の状態（収納がきちんとされている、消しカスやゴミが入っていて汚い、インクで汚れているなど）も持ち主の性格を表していることがわかった。

アンケートの回答からは見られなかったが、ネット上では筆箱コミュニケーションがうまくいかない例もいくつも見られた。Twitter上では、「自分の使いやすい筆箱を追い求めてるだけなのに筆箱変えすぎなのを男子に愚痴られる」「筆箱を取られた」「筆箱に落書きされた」など筆箱がいじめの手段となっている様子が書かれた投稿もあった。また、Yahoo!知恵袋には「筆箱の中身のこれがダサいとか、これは可愛くないとか、そんなことを沢山言われました。」というように筆箱コミュニケーションによって嫌な気分になった例が見られた。さらに、筆者である私自身の体験でも、女子生徒が外で遊んでいる間にクラスの男子が勝手に女子の筆箱を漁り問題になったことがあった。このように、筆箱コミュニケーションは一步間違えばいじめなどの重大な問題につながる恐れがあることを留意しておかなければならない。

(写真：いずれも Twitter より)



4. おわりに

今回、試行的にはあるがアンケート調査を行ったことによって、女子生徒たちの筆箱への興味やそれにまつわる体験を知ることが出来た。文房具は学校生活には欠かせない物であるうえに、学生たちにとっては好み、性格が反映されるものであり、友達とのコミュニケーションをつなぐものとなっているのではないだろうか。一方で、その方法を間違え

ばいじめなどの問題に発展する恐れもあるということも判明した。

現役の小、中、高校生にアンケートを行うことが出来なかったこと、男子学生の意見を聞くことが出来なかったことは残念であるが、この点については次の機会の課題としたいと思う。

【参考資料】

・Yahoo!知恵袋：この前友達にやたら持ち物をデイスられました。(最終閲覧日 2020 年 7 月 23 日)

https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12186035447?__ysp=562G566x44CA44OH44Kj44K5

■本稿書誌情報■

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020 年度「文化社会学演習」WEB 版報告書〕 <https://bungu-narajo.org/>

2020 年 8 月 1 日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース 小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp